

早期発見

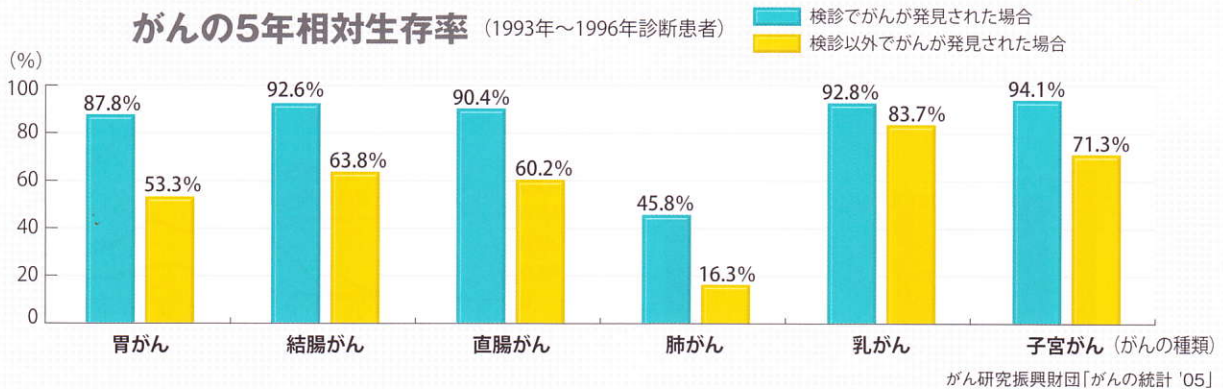
早期治療

が「がん」からあなたの命を守ります。

日本人の2人に1人がかかる*といわれる「がん」。
かつては「不治の病」と恐れられていましたが、医療技術の発展により、治る確率も高くなっています。
がんを克服する最大のポイントは、なんといっても「早期発見・早期治療」です。

*東京大学医学部附属病院 放射線科 准教授 緩和ケア診療部長 中川恵一著「ビジュアル版がんの教科書」

（がんが検診の段階で見つかった場合と自覚症状が出てから見つかった場合等とは）
5年生存率は大きく異なります。



がん検診を受けましょう。

早期発見のために受診が勧められている「がん検診」は以下のとおりです。身体の部位によって検査方法が異なります。

【肺】40歳以上
(年に1回)

胸部X線・
喀痰細胞診(喫煙者のみ)

部位別の
がん
検診方法

【乳房】40歳以上
(2年に1回)

視触診・
マンモグラフィ(乳房X線)

【胃】40歳以上
(年に1回)

胃X線

【大腸】40歳以上
(年に1回)

便潜血検査

【子宮頸部】20歳以上
(2年に1回)

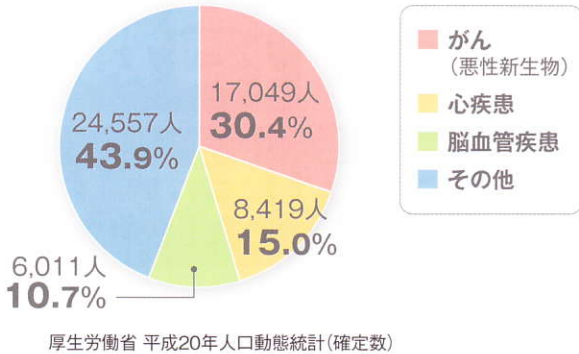
視診・細胞診・内診

愛知県のがん情報

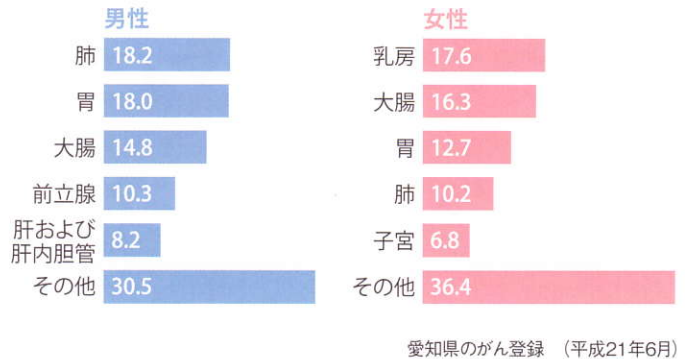
愛知県のがんの実態

愛知県でがんによりお亡くなりになる方は年間17,049人と、全体の死亡原因の第一位となっています。また、男性では肺・胃・大腸にかかる人が、女性では乳房・大腸・胃にかかる人が多くなっています。

愛知県における死因割合



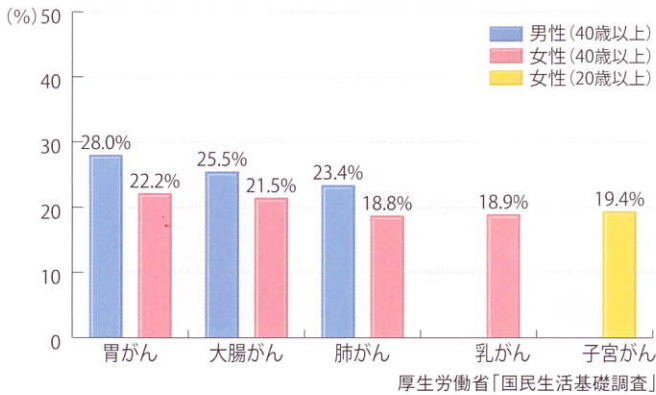
愛知県における部位別罹患割合(%)



愛知県のがん検診受診率データ

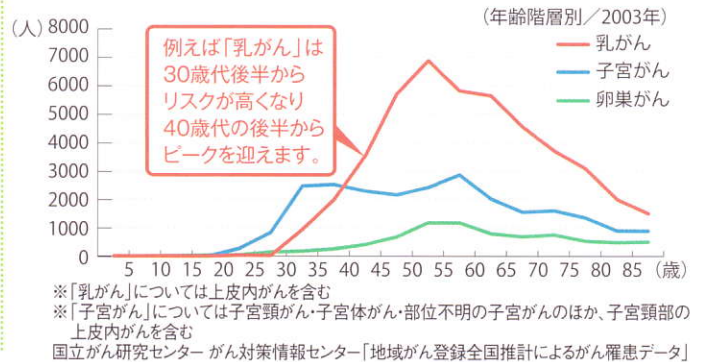
がん対策基本法に基づき、国は「がん対策推進基本計画」を、愛知県では「愛知県がん対策推進計画」を策定し、「がん検診受診率50%」を目標としています。しかし、愛知県のがん検診受診率は次のとおりです。

愛知県がん検診受診率(2007年)



女性特有のがんは、比較的若い年代からリスクが高くなります。若い頃から定期的に検診を受けられることをお勧めします。

ご参考: 全国的女性特有のがん罹患数



愛知県の取り組み

愛知県における死亡原因の第1位は昭和55年以降、がんです。

がんによる死亡者数は年々増加し、約3人に1人の方ががんで亡くなっています。がんが県民の皆様の生命・健康にとって重大な課題となっている中、「がん対策基本法」に基づき、平成20年3月に「愛知県がん対策推進計画」を策定しました。

計画では、「年齢調整罹患率の10%減少と年齢調整死亡率の20%減少」「がん患者・家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上」を全体目標としてかかげ、がんの予防・治療・研究の3つの分野において対策を進めています。

特に、がんは早期発見・早期治療が重要であることから、がんの早期発見に有効であるがん検診の受診率を50%以上とすることをめざしています。

しかし、受診率は50%には及ばないのが現状です。多くの方が、がんに関する理解を深めるとともに、市町村におけるがん検診だけでなく、職場においてがん検診の受診の機会を設けていただくなど、一人でも多くの方ががん検診を受けられるようにすることも大切です。

また、かつては不治の病と考えられていた小児がんも、近年では治療成績が向上し、治療後の生活に関する様々な問題が新たな課題として浮かび上がってきています。このため、愛知県では、治療後の小児がん患児に対する医療従事者の連携や支援体制の整備など長期フォローアップの一環としての小児がん治療経験者に対する支援に努めています。

このリーフレットは「愛知県がん対策企業連携事業実施要綱」に基づく愛知県とアフラックの連携事業として作成・配布しています。

愛知県
 〒460-8501
 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
 健康福祉部健康担当局健康対策課

「生きる」を創る。

Aflac
 アフラック愛知総合支社
 〒451-6029 愛知県名古屋市中区西区牛島町6-1
 電話 052-217-9160